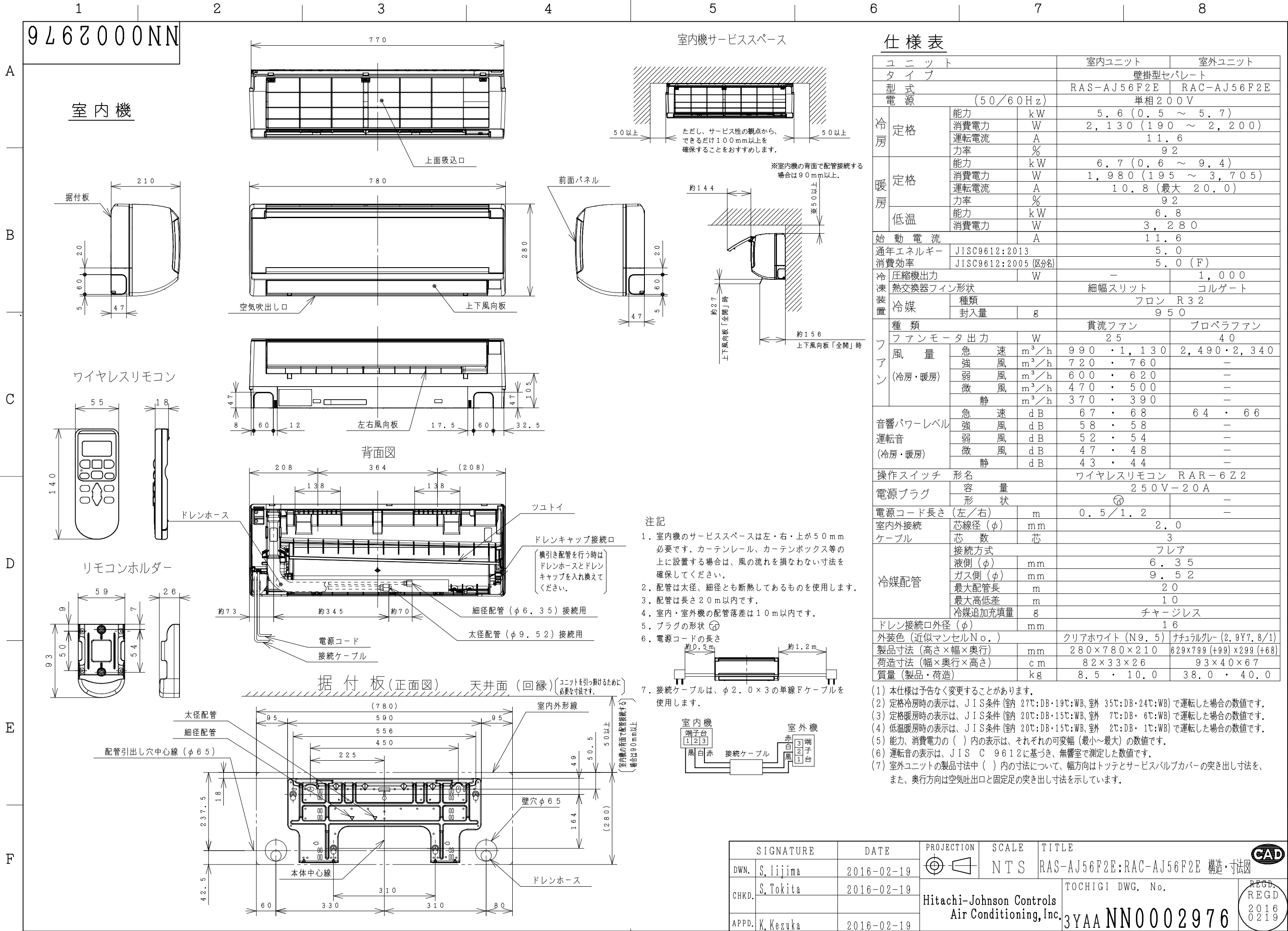
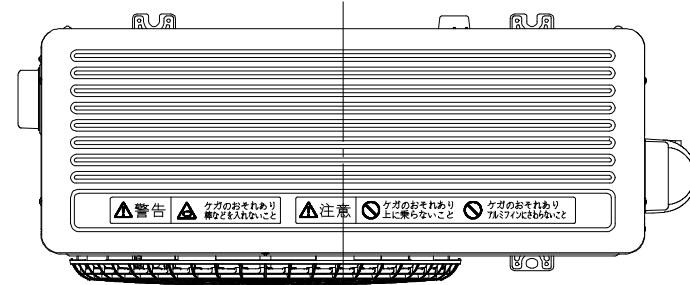




L	L	6	7	0	0	0	N	N
---	---	---	---	---	---	---	---	---

室 外 機



【耐塩害仕様】

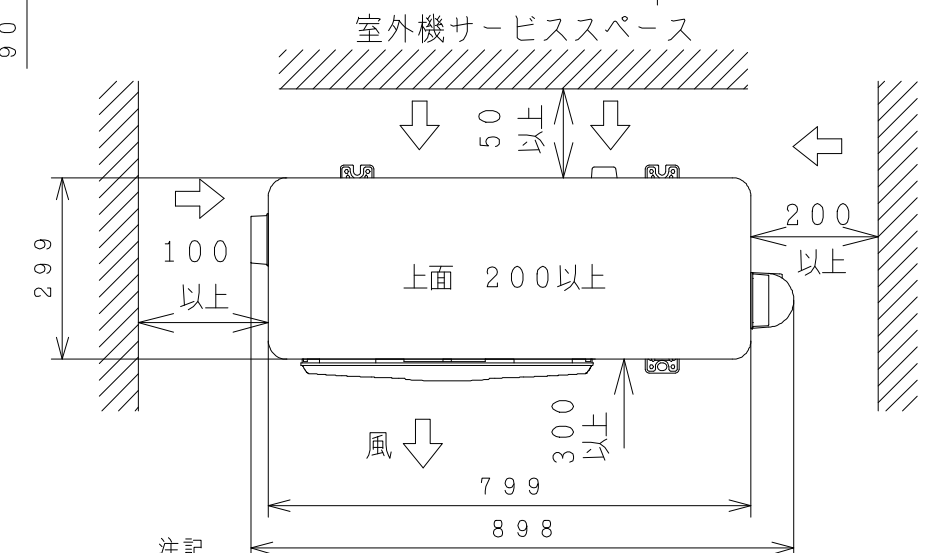
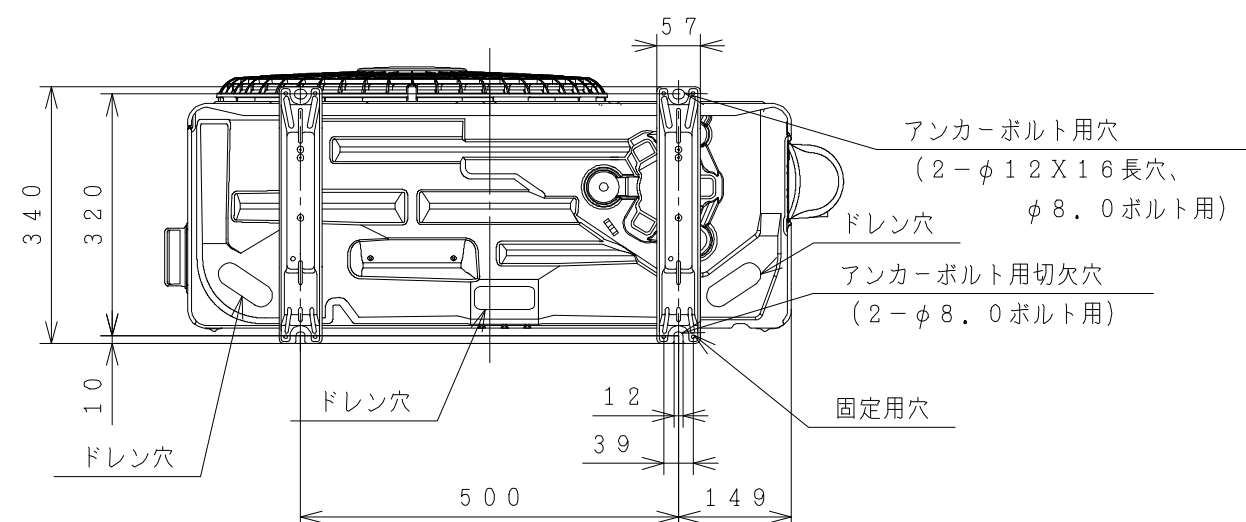
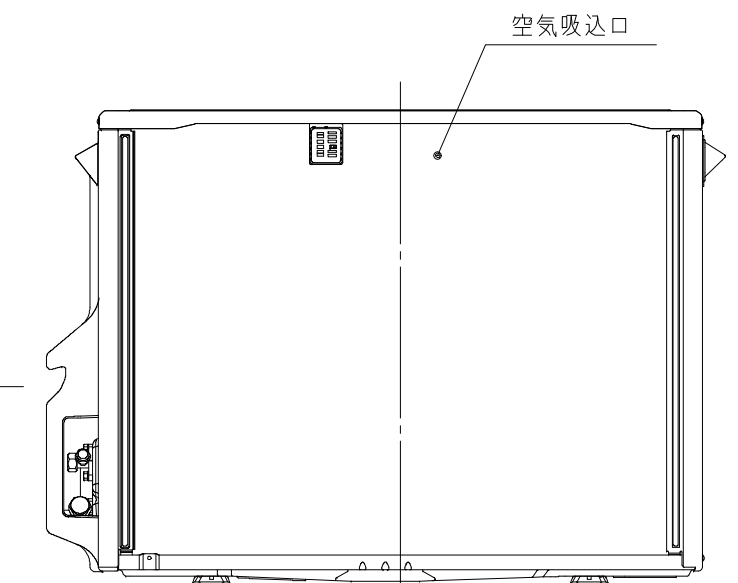
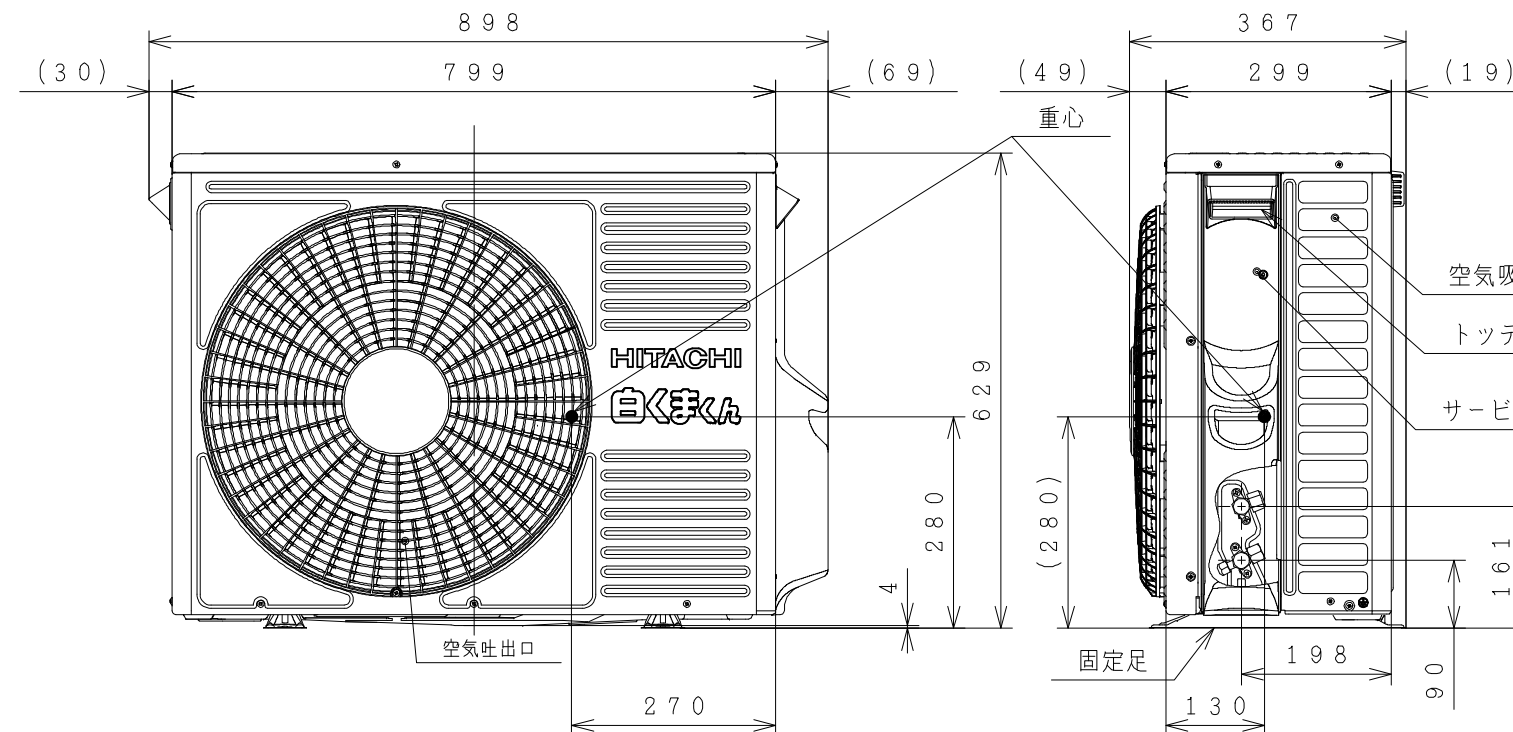
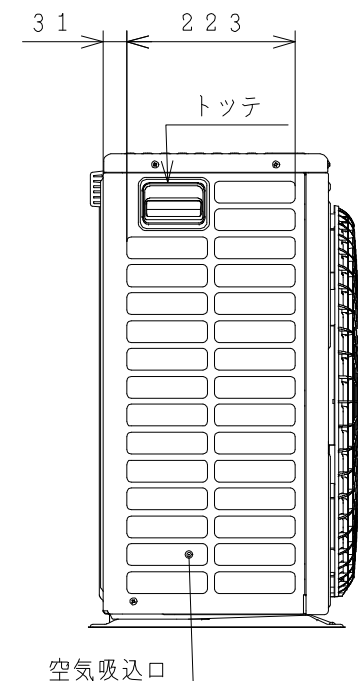
項目		仕 様
外板	天フタ 前側板板	P C M鋼板にポリエステル樹脂粉体塗装 (粉体塗装平均塗膜：6 0 μm)
ベ ー ス		溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム 合金めっき鋼板（塗装なし） または 溶融5 5 %アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板 （塗装なし）
熱交換器		アクリル・ナイロン塗料 「フィンガード（無色）」塗装
基板 (パターン面・部品面)		両面アクリル樹脂塗料（タフイ）塗布

※製品の改良のため予告なしに仕様を変更することがあります。

●据え付け上および維持管理上のご注意

耐塩害仕様は素材や塗装内容を強化していますが、腐食に対して万全ではありません。このため、次のような据え付け計画と保守を行うことで防食効果を高める必要があります

- (1) 海水飛沫および潮風に直接さらされることが極力回避するような場所へ設置してください。
 - ・本体の設置は建物の風下にしてください。
 - ・やむを得ず海岸面に本体を設置する場合は、防風板を設けて直接潮風が当たることを避けてください。
- (2) 外板に付着した海塩粒子が雨水によって充分洗浄されるように配慮してください。
- (3) 室外ユニットのベース内への水の滞留は、著しく腐食作用を促進させるため、ベース内の水抜け性を損なわないよう傾きなどに注意してください。
- (4) 海岸地帯への据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
- (5) 据え付け、メンテナンス等で付いた傷は、必ず補修してください。
- (6) 機器の状態を定期的に点検してください。(必要に応じて再防錆処理や部品交換等を実施してください。)
- (7) 水はけの良い場所に設置してください。特に基礎部分の排水性を確保してください。



1. 本体の前、後、左、右、上方向に上図の $\rightleftharpoons$ 印の間隔をあけられ、2方向以上開放できるところに据え付けてください。
2. 効率のよい運転のため、周囲のスペースをできるだけ広くあけてください。

SIGNATURE		DATE	PROJECTION	SCALE	TITLE		
DWN.	S. Iijima	2016-02-19		NTS	RAS-AJ56F2E:RAC-AJ56F2E 構造:寸法図		
CHKD.	S. Tokita	2016-02-19	Hitachi-Johnson Controls Air Conditioning, Inc.			TOCHIGI DWG. No. 3YAA NN0002977	REGD.
							REGD
APPD.	K. Kozuka	2016-02-19				2016	
						0219	

This drawing is under license by Johnson Controls-Hitachi Air Conditioning Technology (Hong Kong) Limited



REGD.
REGD
2016
219

002

